

# 吉川区・上川谷の冬期間道路確保などを約束

## 日本共産党議員団の豪雨災害対策での県要請に対して

去る14日、日本共産党上越市議員団の杉本敏宏団長、橋爪法一幹事長、樋口良子議員と上野公悦事務局長が新潟県庁を訪れ、「災害対策強化に関する要望」を行いました。これには五十嵐完一県議が同行しました。

6月27日から28日にかけて梅雨前線が活発化し、上越市内では中山間地を中心に300ミリの豪雪を超える集中豪雨が襲いました。吉川区川谷では351ミリの豪雨を記録しました。この豪雨で、旧上越市をはじめ吉川区や柿崎区、大島区、浦

川原区、頸城区など各地で住宅、道路、農地などに大きな被害をも

たらしました。昨年の中越大震災、今冬の19年ぶりの豪雪に続く大災害です。とりわけ吉川区では、大規模地すべりが発生し、集落が孤立するなど重大な被害が発生しました。議員団では直ちに現地調査をして、住民の安全と暮らしを確保するよう市行政に働きかけてきました。被災個所が県道や県管理の河川に集中していることもあって、このたび、新潟県に対して災害対策とすみやかな復旧を求める要望を行ったものです。

土木部道路管理課では、主要地方道大潟高柳線川谷地内の地すべり被災地の早期復旧工事と、主要地方道上越安塚柏崎線の大島区板山集落と吉川区上川谷集落の間の除雪を万難を排して実施することを要望しました。地すべり地の復旧が降雪期までに間に合わない見通しであることから、「上川谷集落が孤立しないよう、道路確保に万全の対策をとる」ことが確約されました。

土木部河川整備課と河川管理課には、吉川や保倉川、戸野目川などの未改修部分の早急の改修を求めました。これらの河川被害が毎年のように繰り返されていることを重く見て、「できる限り改修を早める」との回答でした。

議員団では、この結果を受けて、上越市に対して、あらためて災害対策の強化を申し入れる予定です。



左から杉本議員団長、橋爪幹事長、樋口議員、上野事務局長（14日県庁で）

## 「冬場も生活できるようにしてほしい」

### 被災地住民との懇談会で切実な要望次々

議員団では18、19の両日、吉川区上川谷と代石で懇談会を開催し、今回の災害に関する要望をお聞きしました。

このうち上川谷では、「大潟高柳線の復旧工事を一時も早くやってほしい。年内に駄目なら、板山との間の除雪を必ずお願いしたい」「尾神岳経由の市道（旧林道）は雨が降ったらおっかない。降っていなくとも草刈りをしないと危険だ。緊急に刈って」「冬場、家の周辺の除雪はD3のブルと小型除雪機で対応してきた。県道が復旧されないと下川谷にあるD3を使えなくなるのでは」「夏休みになってバスは運行してもらえないことね」などたくさんの声を寄せていただきました。

こうした要望は吉川区総合事務所など関係機関に直ちに伝えました。



上川谷公会堂での懇談会（樋口議員撮影）

## 日本共産党上越市議員団ニュース

16 2005年7月24日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

杉本敏宏議員、橋爪法一議員はそれぞれホームページを開設しています。市政に関する問題などお気軽にご相談下さい。